



since 1986

健康と温泉フォーラム第109回月例研究会
「俵山温泉活性化ワークショップ」
(対面集会形式)

Workshop on Regeneration of Tawarayama Onsen

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会
地域活性学会 特定非営利活動法人たわらやまの旅と未来会議
- 会期：2023年7月25日(火)、7月26日(水)
- 会場：俵山温泉温泉閣(山口県長門市俵山温泉)
- 形式：対面集会形式
- 会費：2万円(会費5千円、現地諸経費1.5万円(輸送費、宿泊費、食費など))
- 定員：送迎有参加者(10名) 若干名(送迎不要参加者)
- プログラム：

7月25日(火)

930 山口宇部空港(送迎専用車)
1000 新山口駅(送迎専用車)
1300 俵山温泉街・温泉施設他視察
1500 ワークショップ-1(温泉閣)
1700 入浴体験(白猿の湯)
1830 交流夕食会
分泊(俵山温泉の旅館)

7月26日(水)

600 朝湯会(町の湯)
900 ワークショップ-2(温泉閣)
1300 ワークショップ-3(温泉閣)
1600 閉会 終了
1700 俵山温泉発(送迎専用車)
1800 新山口駅
1830 山口宇部空港

■ 趣旨

全国の伝統的な湯治場が衰退の一途をたどる今日、最近の旅行形態の変化、一泊二日の温泉旅行スタイルから「暮らすように旅する」滞在型の新たなマーケットが注目されるようになった。湯治旅館とされる宿はバブル経済をなんとか生き延びたが、今、後継者問題で瀕死の状態に陥っている。俵山温泉は古くより湯治場として栄えた、現在も日本の温泉文化の一つ外湯文化が生き残っている数少ない温泉地であるも、同様の深刻な後継者不足に陥っている。そうした温泉地の現状と課題を地元関係者と本音で語り合う場を、フォーラムの月例研究会ワークショップという形で、現地関係団体と共催する。フォーラムの有識者のみならず、同様の課題を抱える、全国の温泉関係者からも、ぜひ参加を期待し、私達が何ができるかを真摯に語り合いたいと思っています。



since 1986

返信先 FAX : 03-6804-8575
E-mail : info@onsen-forum.jp
: goda@onsen-forum.jp

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

必要事項ご記入の上、上記FAX又はe-メールで返信をお願いします

- 第109回月例研究会 (2023年7月25日 (火), 26日 (水)) に参加します
(対面集会方式) (所定日時、場所での送迎希望定員10名先着順)
(現地集合参加者は別途ご相談ください)

●お名前 (複数可)

・
・

- 会員 (所属) 健康と温泉フォーラム 日本健康開発財団
 温泉療法医会 日本温泉気候物理医学会
 日本スパ振興協会 その他

一般

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL _____ FAX _____ 携帯☎ _____

E-mail : _____ @ _____

(メールアドレスは必ず明確にご記入ください)

●会費 参加費2万円 (会費 5千円 現地諸経費 1.5万円)
(当日会場受付でお支払いお願いいたします) (領収書有)

●お問い合わせ 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

☎ FAX 03-6804-8575 E-mail info@onsen-forum.jp goda@onsen-forum.jp